

令和 8 年度事業計画

1. 前年度の動き
2. 今年度の目標
3. 検査事業の計画
4. 健診事業の計画
5. 健康づくり支援事業の計画
6. その他の計画

第1 前年度の動き

令和 7 年度は、地域保健や母子・学校保健の分野においては、人口減少や少子化の影響により事業量は全体的に減少している。

職域保健分野では、新潟市職員、加茂市職員の定期健康診断を受託できなかったことなどにより全体的な事業量は減少した。

収支においては、事業量が減少する中で収益確保を図るため、検査・健診料金の単価アップを行った。また、費用面では物価や人件費の上昇が続く中で、健診機器等の設備投資や建物の修繕は必要最小限に止め、引き続き人件費の削減（役員報酬の減額、管理職手当の減額、賞与の支給率の見直し）などにより費用の抑制を図った。

(1) 母子・学校保健分野

母子保健の先天性代謝異常検査及び学校保健の尿検査等の事業は、新潟県の出生数及び児童数の減少に連動し、毎年減少している。

(2) 地域保健分野

特定健診は、前年度の受診者数はほぼ前年度並みの 99.8% の実施であった。がん検診では、肺がん健診、胃がん検診、大腸がん検診は軒並み減少しており、特に胃がん検診の減少は大きかった。乳がん検診、子宮がん検診は、受診間隔の関係で今年度は受診者が多い年度にあたり、若干ではあるが前年度を上回った。

(3) 職域保健分野

職域健診においては、令和 7 年度は新潟市職員や加茂市職員の定期健康診断が受託できなかったことなどにより、受診者数は大幅に減少した。人間ドックは、ここ数年、他の健診施設との競合が続いているが、受診者数は横ばい

で推移している。

(4) 健康づくり分野

住民対象の特定保健指導については、新潟市、小千谷市、田上町、見附市三条市で実施している。令和7年度から新潟市では、ICTを活用した特定保健指導を導入しており、当財団でも新規で受託し実施した。

健康げんき倶楽部では、引き続き健康づくりセミナーを実施した。

第2 今年度の目標

令和8年度は本県の人口減少や少子化、他法人の大型健診施設との競合などによる事業量の減少、物価や人件費など経費の上昇が続く厳しい状況を踏まえ、抜本的な経営改善に取り組む年度としたい。

令和8年度における事業実施の目標数(述べ人数)は、次のとおりとする。

検査・健診・感染症予防事業の実施計画数 706,860件

(前年度計画比 34,430件の減少)

(前年度実績比 3,664件の減少)

健康づくり事業の実施計画数 12,360件

(前年度計画比 275件の増加)

(前年度実績比 617件の増加)

この目標を達成するために、次の3点を重点課題とする。

(1) 地域保健においては、人口減少や少子化の影響により受診者数の減少が見込まれることから、市町村と連携して健診受診者数の回復を目指す。

(2) 他の大型健診施設との競合などにより、人間ドックや民間事業所の健診受診者数の減少が続くなか、公務員の健康診断等の入札案件は積極的に獲得する。

また、協会けんぽの健診体系の見直しによる制度の変更を契機に、協会けんぽ加入事業所に積極的に働きかけて、人間ドック健診や生活習慣病予防健診の受診者数の獲得に努める。

さらに、新規オプション検査項目の導入により、受診者数の増加につなげることを目指す。

- (3) 人口減少や少子化という社会全体の大きな変化を踏まえ、当財団が担うべき公益事業と財団の今後の在り方について検討する。

第3 検査事業の計画

健康状態の評価の基本となる検体の検査データの作成、解析、提供を行う事業である。本部（附属診療所）、中越メジカルセンター、県央メジカルセンター、成人病検診センターの4か所の健診現場から検査室に検体が搬入される。検査から結果報告にいたるまでの速やかな実施とともに、精度管理に努めることが第一の目標である。

＊（ ）内の数字は、前年度計画数。

(1) 母子保健

新生児の各種代謝異常症や先天性甲状腺機能低下症などの疾病は早期に発見し、早期に治療を行うことにより知的障害等の心身障害を予防することが可能であることから、県及び新潟市からの委託を受け、この疾病の早期発見・早期治療を目的に、新生児に対し血液によるマス・スクリーニングを実施している。また、希少疾患に対する付加新生児スクリーニング検査についても、新潟大学内に設置された新潟希少疾患協会からの事務処理の受託を行う。

ア 先天性代謝異常検査	10,000 (10,100)
イ 付加新生児スクリーニング検査	9,200 (8,500)

(2) 学校保健

学校保健安全法に基づく尿検査は、市町村教育委員会などからの委託を受け、児童・生徒の腎臓病・糖尿病の早期発見・早期治療を目的に行われているが、少子化の影響で年々実施数が減少している。

貧血検査（小児生活習慣病検査）は、学校保健安全法には義務付けられていないため、検査対象者を見直す市町村もあり、各市町村が独自の取り組みをしている。

ア 尿検査（一次・二次）	135,500 (140,300)
イ 貧血検査	5,100 (6,000)

(3) 感染症検査

結核のQFT検査は結核患者の発生の有無によって件数が変動するが、計画としては医療系学生対象の検査数を掲げる。大学・専門学校の医療関係学生は、

実習前検査として肝炎ウィルスなどの各種抗体検査を実施する。また、腸内細菌検査は、上・中越の食品衛生協会を中心に検査を受託している。

ア 腸内細菌検査	29,000	(31,000)
イ 食品検査	500	(550)
ウ QFT検査	700	(1,000)
エ HPV検査	60	(90)
オ 血液検査(抗体)	500	(8,350)

(4) その他の検査

登録衛生検査所の受託事業として、開業医からの子宮がん細胞診や病理組織検査を中心に実施する。

なお、病理検査機器が老朽化していることに加え、受託検査の件数が減少していることなどを踏まえ、病理室の今後のあり方を検討する。

ア 開業医等からの病理受託検査	3,200	(3,200)
-----------------	-------	----------

第4 健診事業の計画

健診事業は、疾病の予防と早期発見・早期治療を目的とし、県民の健康を維持するための重要な活動である。とりわけ、当財団は市町村保健行政の補完的な役割を担っている。

引き続き、より良い健診体制を構築し、学校保健や地域保健の中核健診機関としての責任を果たして行きたい。

(1) 学校保健

学校保健安全法に基づき、小学校・中学校・高等学校の1年生を対象に、心疾患の早期発見、予防を目的として心臓検診を行う。また、学校定期健康診断における結核の発見率は低下しているが、集団で生活する学校は感染症が蔓延しやすい環境であり、法令に基づき、高校1年生などを対象とする結核検診(胸部X線撮影)を実施する。

ア 結核検診	30,000	(31,000)
イ 心臓検診	31,000	(34,000)
ウ 学生健診	11,000	(11,000)

(2) 地域(住民)健診

高齢者医療確保法に基づく特定健診及び健康増進法に基づき市町村が実施

する各種がん検診は、高齢化、人口減少に伴って年々、受診者が減少している。また、県央地区では他の健診施設に受診者が一部移行するケースが見受けられる。引き続き市町村と連携を密にし、受診者数の維持に努める。

ア 特定健診	32,500	(33,000)
イ 結核検診	95,000	(96,000)
ウ 肺がん検診	116,000	(117,000)
エ 喀痰細胞診	720	(1,100)
オ 胃がん検診	12,000	(13,800)
カ 大腸がん検診	32,000	(32,000)
キ 乳がん検診（マンモグラフィ）	15,200	(17,500)
ク 子宮がん	10,000	(12,000)
ケ 前立腺がん検診	4,000	(4,350)
コ 骨粗しょう検診	700	(1,000)

(3) 職域（事業所）健診

職域健診では、市町村職員や学校教職員等の健康診断を安定して実施しているが、県央地区では地域健診と同様に他の健診施設への移行が懸念される。今年度は昨年度受託できなかった加茂市職員健診など新規で受託予定となっている事業所もあるが、今後の動向に注視し、ニーズの掘り起こしに努め、渉外活動の強化を目指す。

令和8年度の新しい動きとして、協会けんぽの健診体系の見直しにより、生活習慣病予防健診の対象の拡大（20歳、25歳、30歳の若年層）や、骨粗しょう症検診が追加（40歳以上偶数年齢の女性のうち希望者が対象）されるなど、健診の仕組みが変更になる。協会けんぽに加入している事業所に積極的に働きかけ、受診者数の増加を目指す。

ア 事業所定期健診（出張）	16,500	(17,000)
イ 事業所定期健診（ホール）	12,500	(11,500)
ウ 事業所の胸部検診	30,000	(35,000)
エ 事業所の胃がん検診	11,000	(11,000)
オ 事業所の大腸がん検診	13,400	(12,000)
カ 事業所の乳がん検診（マンモグラフィ）	3,400	(4,000)
キ 事業所の子宮がん検診	4,100	(4,600)
ク 事業所の前立腺がん検診	2,000	(1,600)
ケ 事業所の骨粗しょう検診	700	(350)

(4) 人間ドック健診

成人病検診センターにおける人間ドックの受診者数は、新潟市内の他の健診施設との競合もあり、横ばいで推移している。受診者数の増加に向けて、今年度は新規オプション検査を導入する予定である。

また、協会けんぽの健診体系の見直しにより、人間ドック健診が新設され、定額 25,000 円の補助がでるため、これまでの受診者への早期の案内や広報活動に加え、協会けんぽに加入している事業者へ積極的に働きかけ、より多くの人間ドック受診者の獲得を目指す。

ア 人間ドック	3, 2 5 0	(3, 2 0 0)
---------	----------	--------------

第5 健康づくり支援事業の計画

健診事業や検査事業により得られた結果を活用し、医師及び保健師などによる個別指導や健康相談、健康講座などを積極的に行う。

(1) 特定保健指導

「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づく特定保健指導については、市町村主催の糖尿病予防事業とのタイアップや協会けんぽの生活習慣病健診などと連携し、対象者の掘り起こしに取り組む。

ア 住民対象の特定保健指導	2 4 0	(1 9 0)
イ 職域対象の特定保健指導	3 4 0	(2 5 0)
ウ 健康げんき倶楽部における単独の特定保健指導	1 0	(1 0)

(2) ストレスチェック

労働安全衛生法に基づくストレスチェックの実施は、原則として、従業員の健康診断を受託している事業所に対して行うこととする。調査項目の検査の実施だけでなく、医師の面接を含めたトータルな受託を基本に、質の高いストレスチェック事業を推進したい。

ア ストレス検査	6, 7 0 0	(6, 6 5 0)
イ 医師面接指導	2 0	(1 5)
ウ メンタルヘルス相談	5	(5)

(3) 生活習慣病予防事業

ア 糖尿病予防事業

境界型糖尿病、耐糖能異常者の早期発見と早期の教育、生活指導に積極的に取り組む。

100 (130)

イ 喫煙予防事業

一部の禁煙治療薬の出荷停止が続いているが、外来での診療を通して禁煙指導を行う。

5 (5)

(4) 健康相談

健康診断の結果を踏まえ、保健師・管理栄養士などの専門職が受診者の健康に関する悩みごとなどに対応する。

ア 人間ドックにおける健康相談 3,200 (3,200)

イ 事業所などの定期健康診断における健康相談
新潟市特定健康診査における健康相談
労災二次健康診断における特定保健指導他 } 1,100
(1,030)

ウ 健康げんき倶楽部における健康相談 120 (120)

エ 産業カウンセラーによるカウンセリング 50 (60)

(5) 健康教育

市町村、学校、事業所、地区組織などが開催する講演会などに専門スタッフを講師として派遣するほか、健康げんき倶楽部において、少人数制の健康づくりセミナーなどを推進していく。

ア 第22回市民健康講座の開催 150 (150)

イ 健康づくりセミナー 130 (130)

ウ 連携講座の開催 20 (20)

エ 講師派遣 120 (120)

(6) 感染症予防（予防接種）事業

主として医療従事者や学生を対象に、B型肝炎、麻疹、風疹、ムンプス、水痘などの予防接種を行い、迅速な流行発生予防に寄与する。

インフルエンザワクチンの集団接種は、個別接種に移行する学校が増えてきている。

ア 予防接種（インフルエンザ） 6,500 (6,000)

イ 予防接種（肝炎ワクチン他） 2,300 (2,000)

(7) 高齢者・障害者、外国人への対応

ア 高齢者・身体障害者への受診対応

車いす対応リフト付き胸部X線検診車（D-11号）を活用し、高齢者や障害者の施設に入所している者に対する胸部X線検査の拡充に取り組む。

イ 外国籍住民検診

全国的に外国籍住民による結核の増加が問題になっており、健康診断を受ける機会が少ない外国籍の住民に対し、引き続きボランティア団体と協力して無料の胸部（結核）検診を行う。

第6 その他の計画

(1) 健診・検査機器等の設備投資

令和8年度の主な設備投資の計画は、厳しい経営状況を踏まえ、昨年度に引き続き、健診・検査機器の更新など必要最小限の設備投資を予定している。主な設備投資の計画は次のとおりである。（返済を除く）

ア 検診車

① 循環器検診車補修整備 3,352,000 円

イ 医療機器・備品

① 汎用超音波画像診断装置 Versana Active R1.5 3,179,000 円

② 超音波骨密度測定装置 AOS-1000SA 2,464,000 円

③ 便潜血測定装置 OC センサー-PREDIA 2,750,000 円

④ その他の機器等 10,000,000 円

・デュアル手動身長計付き体組成計

・肺機能測定装置

・オージオメーター

・生物顕微鏡

・遠心機ローター交換 他

小計 18,393,000 円

ウ 建物設備

① 成人病検診センター 高圧線 アース部品交換 913,000 円

エ 車両運搬具

① コースター

7,000,000 円

新規計画（返済を除く） 29,658,000 円（概算）

（2）職員の資質向上

ア 学会、講習会、研修会等は、職員の資質向上や専門知識・技術の習得のため、オンライン開催、対面開催に関わらず積極的に参加させる。

イ 産業保健分野において産業医のニーズが増えていることから産業医資格保有医師の確保、または、産業医資格取得に向けて取り組んでいく。また、放射線技師や臨床検査技師などの専門職においてもスキルアップのため、各種がん検診や超音波検査などの認定技師取得に取り組んでいく。

（3）関連機関への参加協力

ア 「結核予防会」及び「予防医学事業中央会」への加盟
それぞれの中央本部と連携し、新潟県支部の活動を推進する。

イ 新潟県検診機関協議会への参加協力
協議会の実施する会議・研修会に参加するほか、肺がん検診部会委員長施設として、より精度の高い検診が実施できるよう、会の運営に協力する。

（4）当財団主催の専門委員会等の開催

健診検査業務の精度の向上を図るとともに新潟大学や医師会等と連携して事業を円滑に実施するため、当財団主催の専門委員会等を下記のとおり開催する。

ア 肺がん検診専門委員会（隔月に開催）	令和8年5月～令和9年1月
イ 母子関係事業（代謝異常）懇談会	令和9年2月
ウ 胸部検診読影委員会	令和9年2月～3月
エ 子宮がん検診委員会	令和9年3月

令和8年度 検査・健（検）診 事業計画

事業区分			令和8年度	令和7年度		A/C (%)	
			(A) 計画数	(B) 計画数	(C) 実績見込数		
検査事業	母子保健	先天性代謝異常検査	10,000	10,100	10,450	95.7	
		付加新生児スクリーニング	9,200	8,500	9,120	100.9	
	学校保健	尿検査	135,500	140,300	138,649	97.7	
		貧血検査（小児生活習慣病含）	5,100	6,000	5,315	96.0	
	感染症	腸内細菌検査	29,000	31,000	29,390	98.7	
		食品検査	500	550	470	106.4	
		QFT検査	700	1,000	650	107.7	
		HPV検査	60	90	60	100.0	
		血液検査（抗体）	500	8,350	460	108.7	
受託	病理（開業医・他健診機関）	3,200	3,200	3,240	98.8		
健診事業	学校保健	結核検診（高1年生・大・専門学生）		30,000	31,000	30,418	98.6
		心臓検診（小・中・高生）		31,000	34,000	32,012	96.8
		学生健診（内科含む高・大・専門学生）		11,000	11,000	11,296	97.4
	地域検診（巡回健診）	特定健康診査		32,500	33,000	32,441	100.2
		再掲	全委託	30,000		29,933	100.2
			一部委託	2,500		2,508	99.7
		肝炎	特定・単独	1,200	1,500	1,157	103.7
		前立腺がん	特定・単独	4,000	4,350	3,997	100.1
		糖負荷試験		30	100	18	166.7
		胸部検診	結核検診	95,000	96,000	95,296	99.7
			肺がん検診	116,000	117,000	116,217	99.8
			喀痰細胞診	720	1,100	847	85.0
		胃がん検診		12,000	13,800	12,452	96.4
		大腸がん検診		32,000	32,000	30,528	104.8
		乳がん検診		15,200	17,500	16,098	94.4
		子宮がん検診		10,000	12,000	10,570	94.6
		骨粗しょう検診		700	1,000	686	102.0

令和8年度 検査・健（検）診 事業計画

事業区分				令和8年度	令和7年度		A/C (%)
				(A) 計画数	(B) 計画数	(C) 実績見込数	
健 診 事 業	職 域 検 診	巡 回	定期健康診断	16,500	17,000	15,940	103.5
			その他の健診・検査	5,700	12,000	5,190	109.8
		施 設	ホール健診	12,500	11,500	12,380	101.0
			その他の健診・検査	7,300	3,300	7,230	101.0
			ドック	3,250	3,200	3,010	108.0
		各 種 検 査 ・ が ん 検 診	特殊健診	3,000	2,700	2,740	109.5
			胸部検診(単独,巡回・施設)	30,000	35,000	29,050	103.3
			喀痰細胞診	100	600	410	24.4
			胃がん検診	11,000	11,000	10,790	101.9
			大腸がん検診	13,400	12,000	13,320	100.6
			乳がん検診	3,400	4,000	3,350	101.5
			子宮がん検診	4,100	4,600	4,070	100.7
			前立腺がん検診	2,000	1,600	1,920	104.2
			骨粗しょう検診	700	350	440	159.1
感 染 予 防	予防接種			8,800	8,000	8,847	99.5
	(内 訳)	インフルエンザ		6,500	6,000	6,517	99.7
		B型肝炎他		2,300	2,000	2,330	98.7
総 計				706,860	741,290	710,524	99.5

令和8年度 検査・健（検）診 事業計画

事業区分			令和8年度	令和7年度		A/C (%)
			(A) 計画数	(B) 計画数	(C) 実績見込数	
健康支援	特定保健指導	住民健診	240	190	196	122.4
		職域健診	340	250	286	118.9
		健康げんき倶楽部	10	10	9	111.1
	チエストックス	ストレス検査	6,700	6,650	6,691	100.1
		医師面接指導	20	15	18	111.1
		メンタルヘルス相談	5	5	1	500.0
	生活予防習慣	糖尿病予防事業	100	130	94	106.4
		喫煙予防事業	5	5	0	—
	健康相談	人間ドック健康相談	3,250	3,200	3,010	108.6
		定期健康診断・労災2次・新潟市特定における健康相談	1,100	1,030	1,010	108.9
		健康げんき倶楽部健康相談	120	120	100	120.0
		産業カウンセラーによるカウンセリング	50	60	38	131.6
	健康教育	市民健康講座	150	150	76	197.4
		健康げんき倶楽部健康づくりセミナー	130	130	123	105.7
		連携講座	20	20	0	—
		講師派遣	120	120	108	111.1
総 計			12,360	12,085	11,760	105.1